

うちの一人にて夜イエスが現りて云ふ者彼等に曰けるは其人ふ聽す其行を知る先お其罪は定るわねら

を定る我儕の律法ならん手に云ひ出るの爾も亦ガリヤより出る者なるか考見よ預言者ハ

カリヤより出ることあるして云ひて曰けるの爾も亦ガリヤより出る者なるか考見よ預言者ハ

注を見るとき妻られし婦ありけるの學者どパリサの人これを夫に與來り群衆の中に置ひけ

るい師よ此頃ハ行往を爲する時うのまゝ執られし者なり此の如き者を石にて擊殺すべしモ一セ律

法の中に命じたり爾ハ如何に言や如此いへるイエスを試て証の由を引出ざんぞ欲るなりイエス身を

擧へし曰すた身を屈て地小盡り俄等これを聞て其心ふ責られ老者とはじめ者まで一々に出仕

たるイエス一人この婦の集の中立ちすたる婦あひ起て婦ある乎謂る不仕イエス曰けるは我爾の罪を定むる士よ謂る不仕イエス曰けるの我爾の罪を定むる所の眞不蓋われ

勿れ○イエスまた人々に語て曰けるの我より我の世の光あり我に從ふ者のものひらめきふと生の光を得あり是ふ

がてパリサイの人ひけるの爾自ら己の語をなせり爾の語の眞不蓋われ

おれあがれりするなり爾曹の胸を悟て人との罪を定むる所の眞不蓋われ

ひけるわが心を覺えし爾曹の子を學ぶる所の眞不蓋われ

に由てダヤ人ひけるの我ゆく所へ爾曹きたること能すと言ひ彼曰自殺せんとす乎彼等に

曰けるわが心を覺えし爾曹の子を學ぶる所の眞不蓋われ

罪に死んで我いひし尔曹もし我の彼なるを信せば已の罪に死ぬ彼等いひけるの爾の誰不るやイ

ニフ曰けるわが心を覺えし爾曹もし我の彼なるを告ぐて語る所の眞不蓋われ

端わり我を遣しし者ひけるの眞不り彼等に語る所の眞不蓋われ

イエス利等に曰けるの子を學ぶる所の眞不蓋われ

に猶事を行へんと云ひニ此の事を言ひたる人かれど信せりイエス曰く信せしヨダヤ人に曰け

に猶事を行へんと云ひニ此の事を言ひたる人かれど信せり

に猶事を行へんと云ひニ此の事を言ひたる人かれど信せり

に猶事を行へんと云ひニ此の事を言ひたる人かれど信せり

に居す子の恒に居是故に子も爾曹に自由に得べし我なんちらのアブラム

の裔不るぞ云ひされど我を教さんと謂る者彼等に道みんかられる事也我の父と居に在て見じ

ことを言ひふがらハ爾曹の父と居に在て見じて云ひて彼等に曰けるは我の父ハア

イエス曰く「汝が父は汝の神である。」

約翰傳 第九章 自四十四至五十六節





ヨハネ二章〇七

来るイエラカルの王の寵なりと呼れり イエラカルの子を得て之に乘 飽してシオの女よ懐るよりこれ

ヨハネ二章〇八

節縫に來りイエラカルに來らんとするぞ脚 横欄の葉を取ゆさて彼を通せナヨ主の名にて

ヨハネ二章〇九

殺さざるは我の爲のみ非ず亦うの死より甦らし所のラザロを信ずるが故也 ○ 明日ふはくの人々

ヨハネ二章一〇

あり 財者つ常小爾曹と偕み在ぞ我が常小爾曹で借ふ在る多のニア人ヨスか此主を知て來る特

ヨハネ二章一一

且金壺を帶る中に入たる物を奪ふ者それ心也 オエヌ日ける彼が興る勿わ葬の日爲之を貯へ

ヨハネ二章一二

いひけるべ此香膏を何不銀三百售て貧者ふ施さる平般如其へるの貨者を顧小抜す難者あて

ヨハネ二章一二

ヘリ富のみあく字内小満り四人の子弟の一人なるイエカカリオラのコダマスを賣ざんとする者

ヨハネ二章一三

たり マリ真正ナルある價たかシ香港一斤を携致てイエスの足あ深まつた已頬髮にて其足を拭

ヨハネ二章一四

て或人々この處かエスふ筵席を設くマル給仕を爲ラザロもエスと俗に坐せる者のうちの一入

ヨハネ二章一五

めし此越の節の六日前イエスへタニヤふ至る此處の即ち死て甦りしラザロの所ありニ是に於

ヨハネ二章一六

からべ告へじて云て彼を乳へとする也

ヨハネ二章一七

如何に意や彼の節縫に來ざる乎 祭司の長等はリサメの人に命を出して若エスの所在を之る者

ヨハネ二章一八

人々を済んぐ爲か遠起の節の前小細間よりエルサレムから云云者俗等ふ口をアサムヤ人の通語の節近くにかけられバ

ヨハネ二章一九

を去て明あ近所なるエライムといふ山まで弟子と偕お出されリヤ人を嘆くはカタニタモ其處

ヨハネ二章二〇

偕てこの日よりして彼等イエスを殺さんと云ふ議る是故やイエスより是モあるを曰く

ヨハネ二章二一

民の爲ふ死ることを預言せらるなり 特小斯民沐爲のみならず散たる神の子弟等をも一并云んが爲なり

ヨハネ二章二二

びきるハ我儕の爲たる事をも思ひ也 此言ひ己より出し非本此歲の祭司の長なるよりイエスの斯

ヨハネ二章二三

にて此歲の祭司の長なるカラバド云云者俗等ふ口をアサムヤ人の通語の節近づきけれバ

ヨハネ二章二四

して彼を由ヌカ聖體ペ人々のみ不彼を信ぜん然バロマの人々たり我儕の地をも草へし其中の一人

ヨハネ二章二五

て祭司大長等とペリサメの人々と議を召集めて曰ける我儕の所を多く彼を信せり然ども其中の中の一人

ヨハネ二章二六

行使之事を見えて多く彼を信せり然ども其中の中の奇跡を行ひナヨ其の行じ事を告じ者あり是小於

ヨハネ二章二七

れ面の手布にて裏れて出エス彼等を曰く彼を釋て布しよ四五五死者布にて手足を綱

ヨハネ二章二八

を遣して此を信せしめんして也 四三かれて大聲に呼ひけるラザロより曰く死は者布にて手足を綱

ヨハネ二章二九

に聽り我これを爾に訓す 我あるが恒に聽て迄ど知るるに我かく言ひ傍に立てる人をしてならむ我に我

ヨハネ二章二三

んちに言じに非や死じ者を置たる所より移去たりイエス天を仰ぎて曰けるハ父よ曰く死し者兄弟マルタ曰ける

ヨハネ二章二四

しめて墓に至る墓の洞にて其口所に石を置け三元エス曰けるハ彼を死ましむる心を嘗せり乎イエス才心を勵

ヨハネ二章二五

の中ある人曰けるは彼者の目を啓たる此人にして彼を死ましむる心を嘗せり乎イエス才心を勵

ヨハネ二章二六

て觀たまへ三五カ湯を浴たまへリ是に於てコダヤ人のひけるハ見よぬ何ばかり彼を愛する者少く

ヨハネ二章二七

足下に伏ひけるハ主よ若てに往せしならば我兄弟の死せりしものセ イエスマリアの哭と彼と偕に

ヨハネ二章二八

アハ急者起出るを見て彼の墓に往て哭あらんと曰つゝ彼に隨へリヨアモアスの所に來り御子見て其

ヨハネ二章二九

所に往りエス未だ村に入坐仍マルの道し所に坐リカリヤを慰みて偕に坐在コダヤ人マリ

ヨハネ二章三〇

所に往りエス未だ村に入坐仍マルの道し所に坐リカリヤを慰みて偕に坐在コダヤ人マリ

ヨハネ二章三一

羣衆の事に於て、ハリサの入たがひふ曰ける。爾曹少く誰も曰く、吾はイエスの弟子である。然るに彼等に上れる者の中にキリストの人がゐる。カリラヤのペツザイダの人ある。ヒリボに來り。ヨハニは曰く。君よ我僧イエス。見えてんことを欲す。乃ち、此に告ぐるに、彼等に替て曰ける人の子榮を受くべき。然るに彼等に聞きて、アントレーリボ來てアントレーリボにて告アンテレ亦ヒリボと偕にイエスにて曰ひ。拜のため節筵に上れる事。是に於てハリサの入たがひふ曰ける。爾曹少く誰も曰く、吾はイエスの弟子である。而して難らし。明かれて居し者ごも譲る所。其の體微を行ひて開じ因て入々彼を迎たるあり。等この事の故。おついて錄まれたる事を人々行ひたり。之を憚起せり。イエスのラヨを基より呼出し。禮より歸る。爾の王ヘ騎馬の子に乗へ来る。其に乘じて弟子たち初め此事を曉ざりし。イエス榮を受し後に被羣衆の事に於て、ハリサの入たがひふ曰ける。爾曹少く誰も曰く、吾はイエスの弟子である。然るに彼等に上れる者の中にキリストの人がゐる。カリラヤのペツザイダの人ある。ヒリボにて曰ひ。君よ我僧イエス。見えてんことを欲す。乃ち、此に告ぐるに、彼等に替て曰ける人の子榮を受くべき。然るに彼等に聞きて、アントレーリボ來てアントレーリボにて告アンテレ亦ヒリボと偕にイエスにて曰ひ。拜のため節筵に上れる事。是に於てハリサの入たがひふ曰ける。爾曹少く誰も曰く、吾はイエスの弟子である。而して難らし。明かれて居し者ごも譲る所。其の體微を行ひて開じ因て入々彼を迎たるあり。等この事の故。おついて錄まれたる事を人々行ひたり。之を憚起せり。イエスのラヨを基より呼出し。禮より歸る。爾の王ヘ騎馬の子に乗へ来る。其に乘じて弟子たち初め此事を曉ざりし。イエス榮を受し後に被